

シトラスリボンプロジェクトに関する取組実績について

健康局 保健所 感染症対策課
市民局 ダイバーシティ推進室 人権企画課

1 「シトラスリボンプロジェクト」と大阪市での取組み

新型コロナウイルス禍で生まれた差別や偏見に対し、愛媛県内の有志の方が、特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、誰もが地域で笑顔を取り戻せる、差別や偏見のない社会にとの願いから取り組んでいるもので、現在、全国的に多くの事業者や行政機関等が賛意を示し、その取組みが広がってきています。

これを受けて、大阪市でも、新型コロナウイルス感染症に関し、感染された方や医療従事者、その家族に対する誹謗中傷やインターネット上への心ない書き込みがなされるなどの人権侵害について、啓発を進めてきたところですが、「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に賛同し、全庁的に取り組むこととしました。（R3.2.19 付け報道発表）

<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/kenko/0000528377.html>

2 主な取組内容

- (1) 人権行政推進本部員あて、取組みの依頼（R3.2.19 付け）
 - ・ 職員のリボン着用、チラシ、リボンの掲示などのお願い
- (2) 全職員あて、着用の勧奨、一斉メール（R3.3.10 付け）
 - ・ リボン着用の呼びかけ、「シトラスリボンプロジェクト」チラシの送付
- (3) 人権行政推進本部幹事あて、所属関係機関への紹介を依頼（R3.3.10 付け）
 - ・ 各所属から指定管理者、事業委託者、その他関連団体への働きかけ

3 実施状況（R3.4.16 時点）【全 51 所属】

- ・ 所属長がリボンを着用している（20 所属）
- ・ 全職員がリボン（シールを含む）を名札に着用している（5 所属）
- ・ 職員の 1 割以上がリボンを着用している（15 所属）
- ・ 周知チラシの配架や掲示をしている（42 所属）
- ・ 関係団体等へ周知するなどの働きかけを行った（27 所属）
- ・ ホームページ、区広報紙、情報誌等への掲載による啓発を行った（24 所属）

（5 月号を含む）

ストップ! コロナ差別

新型コロナウイルス感染症に感染された方や医療従事者、その家族に対する誹謗中傷やインターネット上への心ない書き込みがなされるなど、人権を侵害する事象が見受けられます。

新型コロナウイルスは、誰もが感染するリスクが、誰でも感染させるリスクがあります。

どのような理由があろうと、差別やいじめは絶対に許されません！

大変な時であるからこそ、確かな情報を知り、

お互いを思いやり、尊重し、支えあってこの危機を乗り越えましょう

大阪市はシトラスリボンプロジェクトに賛同します



Citrus
Ribbon
PROJECT

シトラスリボンが広がることで、みんなが
声を掛け合って繋がりを大事にするきっかけ
になってもらいたいと願っています。

シトラスリボンプロジェクトとは・・・

コロナ禍で生まれた差別、偏見に関して、愛媛の有志の方がつくった「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めるプロジェクトです。

シトラスリボンプロジェクト

検索



大阪市健康局 保健所 感染症対策課

大阪市市民局 ダイバーシティ推進室 人権企画課